

高齢社会に対応した住まい・まちのあり方
 ~より長く、自立して、健康に暮らす住まい・まちの実現に向けて~【工程表】

| | | 短期 | 中長期 |
|---------|----------------|---|--|
| 住まい・地域 | 住宅・施設 | <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化の推進 住まい・施設の質と量の両面での充実 情報提供の充実などサ高住に係る運用の改善 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者向け住宅・施設の種別について利用者視点に基づいた一層の簡素化 行政区域内にある高齢者向け住まい・施設の立地状況の見える化 |
| | 住み替え | <ul style="list-style-type: none"> 中古住宅の適正評価につながる環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 中古住宅市場の活性化 自治体間の連携による移住を伴う住み替えに係る環境整備 |
| | 地域包括ケアシステム | <ul style="list-style-type: none"> 介護人材の確保 地域の拠点となる施設の整備 医療職、看護職、介護職等の職種を越えた連携強化 企画構想段階から民間事業者の考えを反映できる公募・入札の導入 | <ul style="list-style-type: none"> 介護等に従事する家族への支援の検討 |
| まちづくり | コンパクト化 | | <ul style="list-style-type: none"> 鉄道、バス等の既存の交通インフラやLRT、BRT等を活用した公共交通網の再整備 都市計画による誘導や税制面・財政面での支援措置により郊外から中心部へ都市機能を移転 |
| | ソーシャル・キャピタルの充実 | <ul style="list-style-type: none"> 教育・福祉・環境・観光・防災・防犯等に係る地域活動の充実(ソフト面) 高齢者のスキル・経験を活かした活躍の場・機会の創出(ソフト面) コミュニケーション醸成に資する社会資本整備(ハード面) | |
| | 外出促進 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に優しい交通手段の提供 ポイント制など高齢者の外出を促す仕掛け作り | |
| イノベーション | 最先端技術・既存技術の利活用 | <ul style="list-style-type: none"> 利用状況を想定した遠隔診療に係る具体的なガイドラインの整備 医師法、薬事法に係る規制の緩和 他産業からの積極的な技術応用の促進 新たな製品・サービスの創出を踏まえた制度の弾力的運用 | <ul style="list-style-type: none"> 遠隔診療の高度利用と都市部・地方部での普及促進 |
| | ICT | <ul style="list-style-type: none"> 健康データの蓄積・解析・見える化 SNSの利活用による世代間交流や地域社会への参画の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護や情報共有のあり方に係る検討 社会保障・税番号制度と医療データとの連携 |
| 総合政策 | ヘルスケア産業の振興 | <ul style="list-style-type: none"> 産業振興につながる規制緩和の推進 グレーゾーンの解消 | |
| | 総合的な政策推進 | <ul style="list-style-type: none"> 担当大臣設置など国家戦略としての位置付け | <ul style="list-style-type: none"> 国の司令塔機能の強化 国際標準を考慮した制度、わが国主導の国際標準化などを通じ、官民を挙げて高齢化関連ビジネスを新たな輸出産業として育成 |